

定期作況報告

(平成22年10月20日現在)
上川農業試験場天北支場

I 気象概況

9月下旬から10月中旬までの気象は以下のように推移した。

9月下旬：平均最高気温が16.8℃（対平年比-1.1℃、以下同じ）、平均最低気温が7.4℃（-1.2℃）といずれも平年よりやや低かったため、平均気温は12.5℃（-0.6℃）と平年よりやや低かった。降水量は29.0mm（102%）、日照時間は50.1時間（110%）といずれも平年並であった。畑地温は13.2℃（-0.8℃）と平年よりやや低かった。

10月上旬：平均最高気温が17.9℃（+1.8℃）と平年より高く、平均最低気温が8.8℃（+1.3℃）と平年よりやや高かったため、平均気温は13.2℃（+1.0℃）と平年よりやや高かった。降水量は14.0mm（34%）と平年より少なかった。日照時間は47.6時間（105%）と平年並であった。畑地温は12.9℃（+0.3℃）と平年並であった。

10月中旬：平均最低気温が5.9℃（+0.9℃）と平年よりやや高かったため、平均気温は9.8℃（+0.9℃）と平年よりやや高かった。降水量は21.0mm（67%）と平年よりやや少なく、日照時間は53.9時間（130%）と平年よりやや長かった。畑地温は11.1℃（+0.1℃）と平年並であった。

以上、この期間を要約すると平均気温の3旬の平均は11.8℃（+0.4℃）と平年並であった。降水量の3旬の合計は64.0mm（63%）と平年よりやや少なかった。日照時間の3旬合計は151.6時間（114%）と平年並であった。畑地温の平均は12.4℃（-0.1℃）と平年並であった。

4月からの主気象要素の積算値（畑地温は5月から）は、平均気温、降水量、日照時間、畑地温はいずれも平年並に推移している。

a. 気象表

項目	9月下旬			10月上旬			10月中旬			3旬平均または合計		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
平均気温 (℃)	12.5	13.1	△ 0.6	13.2	12.2	1.0	9.8	8.9	0.9	11.8	11.4	0.4
平均最高気温 (℃)	16.8	17.9	△ 1.1	17.9	16.1	1.8	14.2	14.0	0.2	16.3	16.0	0.3
平均最低気温 (℃)	7.4	8.6	△ 1.2	8.8	7.5	1.3	5.9	5.0	0.9	7.4	7.0	0.4
降水量 (mm)	29.0	28.5	0.5	14.0	41.3	△ 27.3	21.0	31.2	△ 10	64.0	101.0	△ 37.0
降水日数 (日)	6	4	2	3	5	△ 2	3	6	△ 3	12	15	△ 3
日照時間 (hrs)	50.1	45.5	4.6	47.6	45.5	2.1	53.9	41.5	12.4	151.6	132.5	19.1
平均畑地温 (10cm, ℃)	13.2	14.0	△ 0.8	12.9	12.6	0.3	11.1	11.0	0.1	12.4	12.5	△ 0.1
最多風向	WSW			ESE			ESE					
平均風速 (m/s)	3.3			2.5			2.6					

注1) 平均畑地温は上川農試天北支場のデータ、その他の観測値は浜頓別アメダスのデータ。

2) 平年値は前10か年の平均より上川農試天北支場作成。

3) 降水量、降水日数、日照時間の3旬平均欄は3旬の合計値。

4) △印は対平年値比減を示す。

b. 主気象要素積算値（4月21日～10月20日）

	平均気温 (℃)	降水量 (mm)	日照時間 (hrs)	畑地温 (℃)
本年	2,728	567	987	2,434
平年	2,468	619	862	2,146
比較	260	△ 52	125	288

1) 畑地温は5月21日～10月20日の値。

Ⅱ 作 況

1. 採草型 チモシー（3番草）

作況：平年並

事由：収穫時の草丈及び3番草乾物収量は、いずれも平年並であった。2番草刈取りから9月中旬までは気温が高く、かつ降水量が少なく推移したが、再生後の生育には特に問題はなかった。その後の気温及び降水量はほぼ平年並であり、3番草の生育は平年並に推移したと考えられる。

以上より、3番草の作況は平年並である。

越冬前（10月20日）の草丈は平年より5cm長く、1～3番草の合計乾物収量の平年比は74%であった。

調査項目：

収穫期（月/日）			収穫期の草丈(cm)			10月20日の草丈(cm)		
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
10.6	10.8	△ 2	43	43	0	18	13	5

生草収量(kg/10a)			乾 物 率 (%)			乾物収量 (kg/10a)				合計乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数	本年	平年	比較	指数
919	792	127	20.2	22.7	△2.5	186	179	7	104	891	1,210	△319	74

注）平年値は前7か年のうち、平成19年（最凶年）及び平成20年（最豊年）を除いた5か年平均値。

2. 放牧型 ペレニアルライグラス（6番草）

作況：やや不良

事由：収穫時の草丈は4cm低く、乾物収量の平年比は95%であった。前番草刈取り後の気温及び降水量はほぼ平年並に推移しているが、前番草まで続いた生育不良は、まだ完全には回復していないと考えられる。

以上より、目下の作況はやや不良である。

1～6番草の合計乾物収量の平年比は73%であった。

調査項目：

草 丈 (cm)		
本年	平年	比較
25	29	△ 4

生草収量(kg/10a)			乾物率(%)			乾物収量(kg/10a)					合計乾物収量(kg/10a)			
本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	指数	本年	平年	比較	指数	
481	525	44	18.2	18.0	0.2	88	93	△ 5	95	722	984	△262	73	

注）平年値は前7か年のうち、平成18年（最豊年）及び平成19年（最凶年）を除いた5か年平均値。